



平成25年10月28日

希少糖の木「ズイナ」の研究報告 ～「香川大学農学部収穫祭2013」において～

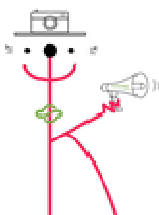
香川大学農学部では、植物の中で唯一 D-プシコースを生産するズイナ (*Itea* 属) に着目して、諸性質に関する基礎研究を進めています。

ズイナは小花がフジのように長い円錐形で多数並び、華道の生花材料や観賞用庭園で育てられていますが、種子増殖が困難で、栽培期間が長期にわたります。そこで、農学部では、効率良い栽培方法の構築に向けて、組織培養を用いた大量栽培法を確立しました。

この組織培養を用いた栽培法をシーズとして、かがわ産業支援財団の農商工連携ファンドの支援を受けて、(株)希少糖生産技術研究所と山南営農組合(共に三木町小藪)が共同して、ズイナ苗の大量生産を開始しています。

この大量生産の実施と並行して、農学部ではさらに幼苗をハイドロカルチャーで栽培する方法も確立しました。このハイドロカルチャー幼苗は、卓上インテリアとして商品化が可能であり、大学でのシーズ研究が、地域との連携で実用化へ展開する可能性が見え始めたので、今後の展開について研究報告会を実施いたします。

1. 日 時／ 平成25年11月3日(日)
11:00～(30分程度の説明会)
※当日は農学部収穫祭のため、ズイナの展示、希少糖研究関連のビデオ上映を BW106 教室で終日(10:00～15:00)実施します。
2. 場 所／ 香川大学農学部キャンパス(木田郡三木町池戸 2393)
BW106 教室(大講義室)
3. 主 催／ 香川大学農学部



問い合わせ先
香川大学農学部庶務係 仁尾
TEL: 087-891-3008 FAX: 087-891-3021
E-mail: ashomut@jim.ao.kagawa-u.ac.jp